

長田会計事務所

通信 2019年10月号 Vol. 160

【発行者】
長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111
FAX 06-6944-2110
Mail nagata@office-smile.jp
HP <http://office-smile.jp/>

【編集部】
編集 長 遠藤 悦代
部 員 木下 心路
発行責任者 長田 雅子

【TOPICS】

- 1P: ◇老子「上善の言葉」 ◇お仕事備忘録 ◇10月の勉強会のお知らせ
2-3P: ◇人の輪数珠つなぎ ~株式会社 樹~
4P: ◇インターンシップ生の成長日記 ◇インターンシップが一人卒業します
5P: ◇未来そうぞう塾レポート①、②
6P: 長田会計事務所の〇〇なコト ◇豊の部屋 ◇長田会計事務所Facebookより

老子「上善の言葉」

われ あ しゆ かく
吾 敢えて主とならずして客となる。



自分が中心となって行動しようせず、受け身に回れ。

宮下真著「心の疲れがすうっと消える 老子 上善の言葉」より引用

「敢えて寸を進まずして尺を退く（一寸進むより一尺後退せよ）」と続き、戦争は自ら始めてはいけないと老子は言っています。

さらに「敵を侮れば宝を失う」と続きます。現状を変えたい、優位に立ちたいと焦ったり、相手を侮って先手を打つと、大切なものを失うことになるかもしれません。

まずは「上手く受け身を取る練習を」ということかなと思いました。



社会保険関係の提出が目白押しです。
また夏季休暇は、事前に取引先への周知を徹底し、
取引先の休暇状況もあわせて確認しておきましょう。

2019年7月 お仕事備忘録

1. 所得税の予定納税額の減額申請
2. 労働者死傷病（軽度）報告の提出
3. 健康保険・厚生年金の「被保険者報酬月額算定基礎届」提出
4. 中元の発送、暑中見舞い状の送付
5. 夏季休暇にまつわる諸業務

10月の勉強会のお知らせ

- おいしいコーヒーの淹れ方
日時：10月2日（水）13：30～15：30
場所：長田会計事務所セミナールーム
講師：田代商店 田代宜達様
受講料：3,500円／お一人様
- コミュニケーションワークショップ
日時：10月18日（金）10：00～12：00
場所：長田会計事務所セミナールーム
講師：スタッフ遠藤悦代
受講料：2,000円／お一人様





長田会計事務所とご縁のある方をご紹介しますこのコーナー。

第22回は 株式会社 樹 代表取締役 森川茂樹様にご登場いただきます。

株式会社 樹 様は訪問看護ステーションを運営され、自宅での看護を必要とされる方々に生活の安心を提供されています。今後ますます必要とされる仕事です。社長の想いをお聴きしました。

長田所長（以下長） 私たちがサポートさせて頂いてから3年経ちました。今回は事務所を移転されたのでいい機会だと思い、インタビューをさせていただくことになりました。

森川社長のプロフィールから教えていただけますか。

森川茂樹社長（以下森） 私は広島県出身で、看護師となって約29年になります。高校を卒業して病院で働きながら看護学校に進学しました。8歳離れた姉がまして、私が小学生の頃に看護学校に通っていました。姉が病院や看護学校、実習先のできごとなど、医療の話ばかりしていたので、医療用語や薬の名前を自然と覚えていきました。そして、当然のように医療の世界に入りました。親は電気工事の仕事をしているんですが(笑)

それから免許を取得し神戸や大阪の病院へ就職し、人工透析室兼病棟勤務で約20年勤め

退職しました。その病院では手術室の補助や管理を任されていたので、多少は信頼があったのかなと思います。その後、転々とクリニックやデイサービスに入退職を繰り返していましたが、妻が訪問看護をやっていたこともあり、現在の訪問看護ステーションを起ち上げました。



社長と奥様

支援が必要な方に、自宅でも自分らしく安心して暮らしてほしい

長 訪問看護はどのようなお仕事ですか？

森 『病気や障がいがあっても、住み慣れた家で暮らしたい』『人生の最期を自宅で迎えたい』と入院先で望まれる方が増えています。そんな時に頼りになるのが訪問看護です。健康状態の悪化防止や、回復に向けてお手伝いします。自宅で最期を迎えたいという希望に沿った看護も行います。最近、病院は早期退院を促しており退院後もケアを必要とする人が増えています。訪問看護の強みは、地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まで全ての年代の方に、関係職種と協力しあって必要な支援が行えるところです。このステーションでも現在のところ、利用者は平均で70～80代が中心、最高齢で94歳の方がいらっ



インタビュー中の様子

しゃるので高齢の方が多いですね。訪問看護でやる医療処置等などは病院と変わらないですが、病院と比べて設備がないため、点滴時にはカーテンレールやS字フックを利用するなど工夫しています。

長 普段、どのような想いで経営をされていますか？

森 高齢化社会が進むにしたがって、訪問看護は必要不可欠になると思います。自分たちのステーションが「どんなステーションなのか」という役割を明確にしてそのサービスを必要としている利用者さんに繋がるような働きかけをしています。そのためには主治医やケアマネ、関係先等の連携も大切です。また、自分の家に他人が来るのに慣れていない人が多いので、信頼してもらうためにも利用者の皆さんや利用者のご家族とのコミュニケーションを一番大事にしています。病院の看護師は言われたことしかしない人が多いですが、訪問看護の仕事はひとりで行動して判断する必要があるため、特に利用者さんとのコミュニケーションが必要ですね。





長 同業者は多いのでしょうか？

森 私たちの事務所がある生野区は訪問看護ステーションの激戦区ですね（笑）

長 そうなんですか。

周囲にたくさん訪問介護やデイサービスの施設がある中で自分たちの特色は何だとお考えですか？

森 特色としては、医療処置の早い対応、経験豊富な看護師が利用者のご家族への手厚い対応を行っているところです。

利用者にご家族に、『選んでよかった』と思ってもらいたい

長 なるほど。今期を振り返ってみての感想やこれからの将来像をお聞かせください。

森 今期の感想としては、今は利益等の数字しか追えていない状況ですね。今後の目標としては、現在ケアマネや医師からの紹介による利用者さんが多く、ステーションの利用者は約30人ですが、もう少し増やしたいですね。現在ひとり当たり1日7~8人の利用者に対応しないといけないのですが、午前4件、午後3件対応すると終わった頃にはヘトヘトになります。だからスムーズに対応するためにも、スタッフの数も増やして規模の拡大をしたいです。他には、利用者の方やご家族に『ここを選んでよかったな』『ここを利用してよかったな』と思ってもらえるステーションを目指したいです。リハビリに関しては現在外部のリハビリの先生と連携していますが、今後はリハビリの先生を雇ってリハビリ自体を業務に内在化させたいです。

インターンシップ生白岡 病院の看護師と違って、訪問看護ではコミュニケーションが重要とおっしゃっていただきましたが社員教育はされていますか？

森 特にはしていませんが、基本的な部分は指導しています。例えば血圧を測るにも、何も言わずに測ろうとすると相手の方が驚かれますから何をやるにもきちんと声をかけるように指導しています。

スタッフ森田 訪問看護のお仕事をされている中で、特に大変だったことはありますか？

森 まず、自転車で訪問先に行くのが大変ですね（笑）

そして訪問看護は、保険の適用範囲内の1時間とか30分とか制限時間があります。その制限時間の中で、血圧を測ったり点滴をしたり床ずれを防いだりやらないといけないことがたくさんあるので大変ですね。

長 制限時間内にやるべきことをしながら柔軟に対応もしないといけないんですね。

これからますます訪問介護のニーズが増えてくると思います。事務所を移転され、事業拡大の準備も整いました。私たちもしっかりサポートしていきます。

本日はありがとうございました。



新しくなった社長のお部屋を見せていただきました。車がお好きなのだそうです。

株式会社 樹 <http://hp.kaipoke.biz/nfd/>
〒544-0004 大阪府大阪市生野区巽北2-13-19
TEL 06-7897-6241





インターンシップ生が卒業します



8月末でインターンシップ生の田村君が卒業することになりました。
 昨年5月から1年3か月、いろいろなことにチャレンジしてくれました。
 ありがとうございました。次の場所でも頑張ってください！

この記事の皆様が読んでくださっている頃には、僕は来春から働く会計事務所で、インターンシップ生として苦戦しながらも頑張っていると思います。僕がインターンシップ生として迎えてもらったのは昨年の5月末の頃でした。今もはっきり覚えているのですが、面接のときも、実際に働き始めて数週間もずっと緊張していました。

しかし事務所はアットホームで、だんだん緊張もほぐれていきました。特にお父さんは、僕の苗字が「田村」なので歴史上の人物である「坂上田村麻呂」にちなんで「麻呂殿」とあだ名もつけてもらい、朝会ったときはいつも笑顔で呼んでもらっていました。これから見られなくなると思うと少し寂しいです。もちろん所長、スタッフの方々にもいつも声をかけていただきました。時間は限られていましたが、事務所に行くことは自分の楽しみでもありました。本当に恵まれた環境で働かせていただいたなと思います。



所内の卒業報告の様子です。



通信の発送準備の様子です。

長田会計事務所のインターンシップでたくさんの方々のことを学び、たくさんの方々とも出会いました。新聞でも何度か記事にさせていただきましたが、経営者の会に参加させていただいたことは自分にとって刺激そのものでした。自分の親世代、もしくはそれより上の方々が集まり現状について議論したり、これからの未来について議論したりと、何歳になっても「勉強する、学ぶ」ということの大切さを痛感しました。その点では事務所が毎月行っている勉強会も同じです。勉強会という名ですが、楽しい雰囲気です。誰でも気軽に

受けられるので、ぜひ参加してみてください。

また「勉強した知識が実際の業務に活かされている」という実感が得られたことも、自分の中ではすごく大きかったです。今まで高校・大学と会計について勉強してきましたが、普段の生活でそれが活かされることはほとんどありませんでした。勉強していてもモチベーションの維持にはすごく苦労しました。だからこそ、自分は実際に仕事をやらせてもらえるインターンシップがいいと思いこの事務所に来ました。



(右)所内卒業報告会にて感想を述べる所長

そのおかげもあってか成績は大学入学以降3回生が最も良かったです。インターンシップ、学校、アルバイトと忙しかったので、最初はどうかと思いましたが、最終的にはこのような結果が出せたので良かったです。

今まで周りの方に恵まれて自分の夢を叶えてもらったので、これからは自分が関わった人はもちろん、これから関わる人の夢を少しでも支えることができるような人になっていきたいです。そしていつか「君のおかげで今の自分がある」と言ってもらえるような人になりたいです。

最後になりますが1年3か月の間、まだまだ21歳の若僧の自分にとっては貴重な、人生の中でもトップクラスに入るくらい充実した日々を過ごすことができました。お客様と直接お会いする機会はありませんでしたが、仕事として間接的に関わらせていただいていたと思います。

本当に感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。





未来そうそう塾 レポート①



インターンシップ生の白岡です。

7月12日、保険代理店 株式会社 Trust in の筒井氏をお迎えし、生命保険についての勉強会を行いました。生命保険の基礎知識から、将来設計に保険をどのように活用し、運用すべきか教えていただきました。

まず初めに、生命保険の基本的な種類である養老保険、定期保険、終身保険について、解約払戻金の額の違いや掛け捨てなど、それぞれの保険の仕組みについて学びました。

終身保険は総受取額とほぼ同額の保険料を支払う必要がありますが、死亡時の受取額に加えて解約払戻金が受け取れ、反対に定期保険は保険料の支払いが少額で済みますが、解約払戻金がほとんど発生せず掛け捨ての保険となっています。この性質を活かして、終身保険を主軸として契約するうえで、一定期間の手厚い保証が欲しいときにだけ定期保険を追加するべきとのことでした。このような定期保険と終身保険の性質の違いを知らずに必要のない定期保険を契約してしまっている人は少なくないだろうと感じました。私自身も、保険に対して無知無関心だったので、今回の勉強会に参加していなければそれぞれの保険の性質について詳しく知ろうとせず、親が加入していた保険にそのまま加入していただろうと思います。再来年には私も社会人となり、保険に加入する際は、今の自分にはどのような保障が必要か考え、保障の充実だけでなく、自己資産を保持するという観点にも立って、保険を選びたいと思いました。

次に「みらいのお金を考える本」という資産形成ガイドブックを使って、これからの資産の運用について教えていただきました。日本の人口は年々減少し、2050年には働き世代1人が1人の高齢者を支えなければなりません。そのために年金以外の資産を持つ必要があると言われてしています。その方法として、投資で「お金を育てる」ことが重要とのことでした。私を含め、受講していたスタッフの方々も投資に対してはリターンよりリスクへの危機感が強く、日本では同じ考えを持つ人も多いのではないのでしょうか。そこで、変額保険というものについて説明していただきました。この変額保険というのは、死亡時の総受取額はそのままで、株式や債券の運用を行い解約払戻金が増減するという投資性の高い保険です。また変額保険は養老保険の一種なので、投資という側面から見れば、長期的な投資となり、収益の安定が期待されます。そのため変額保険はこれからの経済状況や、リスク回避型と言われる日本人にとって相性のいい保険だと感じました。

最後に、私はこれまで保険に対して万が一の時の保障という面ばかりで捉えていましたが、少子高齢化がますます加速するなかで、自分の資産を運用するものとして保険を活用し、将来のため「お金を育てる」行動をしていきたいと思っています。



未来そうそう塾 レポート②



インターンシップ生の木坂です。

今回の勉強会では、橋爪社会保険労務士に給与計算と社会保険について教えていただきました。

僕がこの長田会計事務所働き始めて4ヶ月になりますが、給与計算の業務はまだ一度も行ったことがなく、ましてや社会保険との関係性についても曖昧な認識でいました。まず一番にその決まりごとの多さに驚きました。残業をした人には残業代を、社会保険を納めなければいけない人には社会保険控除をと、お給料はただ働いた分がお金に換算されて支払われるというものではありません。一人一人に合わせて支払われなければならないため、決まりごとの多いのだとわかりました。今まで給与明細をもらってもあまり見ることもありませんでしたが、これからは書いてある一つ一つの意味を理解しながら見たいと思いました。

社会保険についても、健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険とすべて働く人のために必要であることや労使折半であることを知り、あいまいだった部分をしっかりと理解することができました。

また、僕は今こうして会計事務所のインターンとして税理士の仕事を間近で見せてもらっているのですが、他の士業にも興味を持っています。給与計算の業務についてのみですが、橋爪先生にお話を聞くことによって社会保険労務士の仕事について少しでも知ることができたので、良い経験となりました。

いつか僕も給与計算の業務を行うときが来た時のために、橋爪先生に教えていただいたことを忘れないよう、さらに知識を深めたいと思いました。ありがとうございました。



長田 豊



近頃のスポーツ概念
体を動かすのは我々の世代のスポーツ。
近頃は頭と指を働かすeスポーツなるもの
がはやりだした。
高額商品をめざすスポーツ。
今度はどんなスポーツが流行りだす
のか楽しみである。



福本 雄基

(インターンシップ生)



僕が好きなスポーツは水泳です。
ですが、あまり水泳が好きな人が
周囲にいないので寂しいです。な
ので、この場を借りて水泳を宣伝
させていただきます(笑)。

今年の世界水泳でクロールの日本選手が銀メダル
を獲得して話題になりました。単純に体格、筋力
がものを言うクロールでも日本人が活躍する時代
が来たのが嬉しいです。来年の東京オリンピック
はクロールを含めた全種目で日本人の活躍
が期待できるので今から楽しみです。

もちろん自分で泳いでも楽しいの
で、水泳に興味を持つ人が一人でも
増えたら嬉しいです。

田村 結稀

(インターンシップ生)



僕は元々3歳から12歳まで水泳、中
高とバスケをやっていたのでそのど
ちらかかなと思ったのですが、それ
ではありきたりかなと思い、あえて格闘技、
特にキックボクシングを紹介します。一度事
務所の朝礼で魅力を語り始めプレゼンのような形
で話したことがあるのですが、細かく見ると本当
に面白いスポーツです。体のちょっとした振りや
目線、ステップの使い方、多くの試合を見るとこ
れがわかるようになり段々虜になります。興味を
持った方、格闘技が日本でも再び盛り上がっている
今こそ見てみてください。
ちなみに僕はそれで高2の弟
を洗脳して、今では2人で試
合を見ています(笑)



長田会計事務所の 〇〇なコト

今月のお題： 「スポーツといえば」

木坂 公宣

(インターンシップ生)



僕は野球が好きです。しかし、だい
ぶへたくそです。僕の友達は何スポー
ツ万能なので、僕が失敗したりすると、
「捕れよ〜」だの「打てよ〜」だのと、よく野
次を飛ばしてきます。しかし、そんな僕でもた
だ一つ上手にできることがあります。それは投
げることです。相手がグローブを構えていると
ころへ一直線に投げ込むと、友達は「投げん
のは上手いな」と言います。そして「お前は僕の
コーチかい」そう言いながら、少しうれしい僕
がいるのです。だから、厳密に言うと僕の好き
なスポーツは野球ではなく、キャッチボールと
いうことになります。最近は友達皆が
忙しく、なかなかすることができない機
会がないので、僕とキャッチボールを
してくれる人を随時募集中です！



豊の部屋



つつじの前で奥様とツーショット📷

長田会計事務所 facebook よい



スタッフ遠藤です。
来年のとあるイベントのために所長が実
家から預かってきたアルバムには、小…



長田会計事務所では
facebookで情報発信
しています。
HPからでもご覧いた
だけます。
チェックしてくだ
さい♪

